

2012年6月9日(土)～10日(日)

## KTC 合宿(茜海カップ)参戦記

橋詰晴彬

### 行程詳細感想感謝御礼記

前日から梅雨入り。早朝5時 鈍より曇れる空、雨止む気配はない。6時出発予定が1車パンクで30分遅れて4台14名一路日本海を目指す。丹後半島網野、夕陽ヶ浦温泉茜海旅館に予定通り到着。

合宿リーダー宿院氏の弟氏、どちらが兄か分からない宿主と生後0.5才の赤ちゃんを抱いたうら若い女将の笑顔に迎えられた。到着後ただちに全体会議、部屋割、参加者自己紹介、怪しい空模様によるコース変更等今日明日の詳しい行程をリーダーより説明。

最初はバイクで経ヶ岬までの往復。スタートして即海岸線の急峻な上りで先行者に遅れて一人あえぎながら上り切る。美しい海岸線を一気に下り網野市街でやっと追いついたが、6名の後組。先組は遙か先を行くらしい。後組の真ん中で引っ張ってもらって一路岬を目指す。時おり激しい雨足に、メガネを曇らせながらも快適なサイクリングを楽しむ。

間人町道の駅で小休止。犬ヶ崎トンネルの上りで再度引き離される。岬までの海岸線はアップダウンが続く。鶺鴒川、久僧を超えた辺りで、岬から折り返してきた先組とすれ違う。快適に飛ばしていた。暫らくして後組と出会って先導車が返ってきた。岬は目前だがここで折り返す。素晴らしい景色と裏腹に豪雨が襲うが、トライアスロンに雨は付き物である。間人まで戻って小さなコンビニらしき店でカップラーメンとおにぎりの昼食。腹がふくると上る元気がなくなり先導車のお世話になる。JR 網野駅前を経て帰宿。先組はとうに着いていた。

宿二階の温泉風呂は、夕陽ヶ浦砂浜海岸が一望でき絶景である。再度おにぎりの軽食を取り、先ほど走った浅茂川漁港の高台にある温泉プールへ。元気組は10km、標高250mもある坂越えのランニング。へばり組は乗車。プールはジュニアスクールで賑やかだ。3コースを独占してスイム練習。インターバル、リレーと楽しいメニューだった。隣の温泉露天風呂は、これまた漁港と大海原遙かの景色。この温泉内の店舗は、お土産のほかコンビニ顔負け何でも売っている。鮮魚が一匹10円から。山海生鮮珍味まで。私は粒ウニの瓶詰450円を2本買った。

気持ちよく宿に戻れば生ビールが待っていた。夕陽が沈む真っ赤な夕陽は、雲の彼方だが浜辺と海原の狭間にあかね色の太陽が水平線に消えていく姿が臉に浮かぶ。ジョッキ片手に今日一日を語り合う楽しい一時であった。

囲炉裏風掘座卓20名超座れる食事室で始まるこれからの大宴会。語るより一見の写真でお分かりの通り説明は不要。



翌朝 6 時起床。雲っているが降る気配はない。前日満杯の胃袋もすっきりして、美味しい朝食をいっぱい詰め込み 7 時 45 分、丹後最大の温泉地城崎へ。快適なバイク練がスタート。楽しいロードレースだ。久美浜湾を一周。ここまで何とか付いてこられたが、小天橋のわずかの上りで遅れてしまう。小峠を越える登りでどうせすぐ追い抜かれるからと先行するも、峠手前でパンクして先導車のお世話になる。車中でパンク修理。直ったところ JR 城崎駅着。再びバイクで温泉街めぐり、日曜日の朝 9 時温泉町は賑わっていた。情緒ある風景だ。柳に小橋、風格ある木造旅館、散歩客。城崎温泉菩提寺薬師堂門前の足湯へ。足だけでは侘しいとそのうち座り込み尻湯に、、、気持ちよくなったところで帰路に出発。温泉街を一周して又もや違う小さな峠を越え、久美浜湾を回って車両の少ない舗装の良いロードコース快適に飛ばして基地着。

お握りの軽食を頂いて、今回合宿のメインイベント、ショートトライアスロン大会開催。

「スイム 600、バイク 26km、ラン 5km、」。私はもう走れない。スイムは何とかできるが、バイクはコース逆走でトップと出会った所から引き返し、ランは海岸散歩と決める。夕陽ヶ浦海浜は素足と海砂が気持ち良い。水虫が少し治りそうだ。併し海水温冷たしスーツ必須。私のスーツ(1988 年 4 月 23 日宮古島にて)と裏書してある 24 年前の第 3 回宮古島 85 位だった、前田会長優勝の時の年代物。体重が 10kg も増えている何とか着込みチャックを締める。

12 時宿主人の号砲でトライアスロンスタート。沖合 80m 先の消波ブロック幅 100m 左周りに一周 300m の▽を二周する。やはりスーツの締め込みきつく、スイム中息が苦しく二周目を直線で折り返して上陸。先行組はバイクをどんどん飛ばしていく。バイクに着替えトップを迎えに行く。丁度中間あたりでトップ山本選手が猛烈なスピードで帰ってきた。素早く U ターンして後ろに飛びついたがとも付けない。直ぐ引き放された。そして二番朝倉選手に飛びついてバイクゴール。一応ラン姿に着替えるも走る元気はない。浜辺でラン選手を応援。若手、熟練の素晴らしいメンバー達を誇りに思う。私も 25 年前こんな姿で駆けていたのか脳裏に浮かぶ。久しく三種目の姿だけでも体験させてもらった。たぶん最後のトライアスロンらしき練習会であろう。ありがとう。

楽しい合宿であった。景色よし、コースよし、宿よし、女将よし、そして人(参加者)よし、支援よし、先導車でコース案内、エイド救援、雨中の中細やかに駆け回って頂いた名ドライバー堀お嬢ありがとうございます。選手たちも安心して激しい練習ができた事でしょう。又手足纏の同伴者を快くドライブ、観光に案内して頂き重ねて御礼いたします。

少々遅くなった豪華な昼食を豪快に頂き、帰路に就いた。茜海二世の健やかな成長を願う。

